（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふくら勇気			
○保護者評価実施期間	R8年　2月　1日	～	R8年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	4
○従業者評価実施期間	R8年　2月　1日	～	R8年　2月　28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	２０２６年　3月　２０日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との交流と利用者様の運動機能を維持していく目的で運動会を実施している。	・運動会は両親だけでなく、きょうだいにも参加してもらい交流の機会と考えていた	・運動会だけでなく利用者様の家族、きょうだいを含めたお楽しみ会等を考えていく。
2	活動内容による感覚機能の維持向上	音楽療法や感覚機能の維持向上のための製作・工作	・これらの活動内容の振り返り（記録も含め）と、次回へつなげるための話し合いを実施していく
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害などのマニュアル作成はされているが、訓練が具体的にされていない。	重症心身障害児・者・および医療的ケア児の事業所であり具体的な訓練内容を職員で意見のすり合わせが出来ていなかった。	・ミーティングなどで、具体的な災害発生時の訓練内容を想定して話し合い、訓練につなげていく。 ・実施された訓練内容などは振り返りながら、次回につなげる。また、ご家族にも実施していった事は発信していく。
2	他者との交流の機会の少なさ	・地域住民との交流の機会が減っている。 ・保育園・幼稚園などの同年代のお子さんとの交流が移行支援の利用者しかできていなかった。	・地域住民の方には、ふくら勇気の事業所がどんな事業所か知ってもらう為、ふくら通信などが出来たら配布していく。散歩などの機会を通じて交流していく ・地域の保育園・幼稚園などと連絡をとり交流の機会をつくる。
3			